



第33号
(発行所)
真宗大谷派
松岡山 廣讚寺
中村区城屋敷町3-30
TEL (052) 411-5301
FAX (052) 411-5341

阿弥陀経にでてくる

高弟子第五 摩訶俱絺羅

伊藤和美

高弟子五番目は(摩訶俱絺羅)であります。この人は尊者大住とも呼ばれる。舍利弗の母サーリの兄でクチラと申します。

父のマータラがテッサとの問答に敗れた時も父を助けることもできず、妹サーリの知恵にもかなわず、恥ずかしさを強く感じ修行にでました。修行が成就するまで爪を切らないと誓った。彼は長い爪をしていたので、長爪梵士と呼ばれていた。

諸国を回ってマガダ国の都王舎城にやってきた国王のピンバシヤラは、お釈迦様を非常に尊信し、都の郊外に竹林精舎という僧院を建てられた。ここには甥の舍利弗

や目連が仏道にはげんでいた。

舍利弗の紹介でお釈迦様にお会いになった。この時突然お釈迦様に、

『師よ私はこの世の中でいろいろな事が言われるがそれらを認めません』

ここで釈尊は静かに、

『梵士よそれなら認めないと言うことも認めないのか』
と言われて彼は困った。釈尊は、

『これ梵士よ。これらの主張に強く執着すれば敵が現れ争いになる。そこで知恵のある者は執着を捨てるのである』

この釈尊の教えに感動して、ただちに釈尊の弟子になった。頭の鋭い人がそろった家に育ち、諸国を長く迷い歩いた彼は釈尊の教えに初めて本当の道を見いだし感激も手伝い、執心に仏道にはげまれ、弟子の中でも問答第一と皆から言われた。釈尊からも我が声聞弟子の中で俱絺羅比丘は明解聰利第一と言われるようになった。

時は今、報恩講シーズンだ。皆様参詣致しましょう。

二十組ご命日のつどい

都三

(A)

佐古前町の法敬寺で生田亮先生の話聞く。

人間の戒律には男子に二五〇条、女子には三八四条ある。この戒律を守り生活が出来るだろうか。聖人はこの部分を念仏と他力の信心に要約して正信偈の「不断煩惱得涅槃」とされたのである。

秋の彼岸会の日でした。

(B)



廣瀬純史師の法話を聞く。場所は廣讚寺である。

国家権力をこえた念仏の世界を教えて下さったが、集まった者たちからの念仏の声は少なかった。念仏者は次元を超えた世界に生きてこそ世界平和をとなえることが出来ると思った。

(正賢寺)

MM生

涼しくなった。異常気象による猛暑も過ぎて小雨の中、正賢寺で聞法した。

今年最後のご命日の集い。先生は生田亮先生の連続講座「親鸞聖人をもっと身近に」がテーマであった。

三十六ページのプリントの内容を十二回にわたって法話が続く。その内容を第九回であったが、七回から参加させていただき自分なりにまとめました。

(一) つくづく信仰の自由な国に生かされ幸せである。節度をもてば、他宗をも口に出して思いを述べることができ、さらにキリスト教・回教までも。

(二) 親鸞聖人が身近に感じられるようになった。来年少木寛之氏による法難からの連載が始まることもあるが、「弟子一人ももたず」の意味がやっとわかった。

現代社会の合理的な考え方も大切だと思うが、我々人間の心の問題は一向に進歩発展していない。現実を直視する必要があると思つた。

友ありき

まさ女

私の友人でハハキギ会派の歌人、藤井尋子女史が二冊目の歌集「酔芙蓉」を出版し、贈られてきました。

彼女は大の愛猫家です。本の中には年老いた猫を愛する姿が、ありありと目に浮かぶ歌が何首もありました。その中から一首引用すると、

「CMに見る餌次々買ひ来れど 映像の如くは わが猫食はず」

とあります。悪友の私は、

「CMで餌に飛びつく猫たちは 三日も前から絶食と聞く」

と狂歌で返歌。きっと彼女を傷つけたことでしょう。立派な歌人がよく許してくれたと思うと、今でも汗顔の至りです。現在はたまに道で会うと楽しく語らいます。

彼女は、まず美人、歌詠みだけでなく子育てをしながら学校の先生をした才媛さいえん、書の分野では中日書道会の審査員。天は彼女に与え過ぎたもうたと、恨めしく思う誇れる友人の一人です。

老の戒め

まさ女

一、紅葉は 春の花よりも更に趣あり 若きより老いて後 人は円熟す 晩成すべし

二、昔日を自慢すべからず 人の価値は「今」に定まる 励むべし

三、余命少なき一日は 若き日の十倍の価あり 慎むべし

四、世間に陰徳の種まけば 家門に福報の花咲かん 努むべし

五、いまだ死を免れたるものあらず 迎えのある時は 安んじて旅に立つべし

青葉山 松尾寺にて 教わる

十月句会

えみ女

友逝きて一人散歩や秋の蟬

深庇御堂の奥より秋の声

朽ちる墓新しき墓秋彼岸

ドライブや木曾路の茶屋の茸汁

ふりむけば落暉に染る芒原

【20組行事案内】

・十二月十五日(水) 十一時半

東別院報恩講助音

一) 命日の集い

・一月二十二日(土) 四時 法話と懇親会

会費 四千円

〈場所〉名古屋駅西「美よし」

※お申し込みは寺まで

行事予定

十二月三日(金)～五日(日)

報恩講執行

十二月十一日(土) 七時半 同朋委員会・例会

(役員は七時)

十九日(日) 二時～四時 学習会

二十八日(火) 十時 二十八日講・女人講

三十一日(金) 三時 歳末勤行

十一時半

～十二時半まで 除夜

一月一日(祝) 十時 修正会

八日(土) 七時半 同朋委員会・例会

(役員は七時)

十九日(水) 二時 学習会

二十八日(金) 十時 二十八日講・女人講

